

# 鎌ヶ谷東第一区連合自治会について

## 1 当会の発足と経緯

当会は昭和 60 年 4 月に鎌ヶ谷市自治会連合自治会が発足するとき、東鎌ヶ谷エリアと東初富の一部エリアにある 18 の単位自治会が連合して地区連合自治会として組織され加入しました。当初は 1400 世帯程度でしたが、その後 6 自治会が発足し参加してきたため、一時は 24 単位自治会 2000 世帯になりました。しかし、平成 28 年に連合としての内部調整が不調に終わり、平成 29 年 3 月にまとまって組織的に活動する動きを止めました。

現在、単位自治会として活動しているのは 17 自治会(1570 世帯)であり、内 3 自治会(350 世帯)が鎌ヶ谷市東第一区連合自治会として鎌ヶ谷市自治会連合協議会の地区連合自治会に残って、細々と活動を続けています。

## 2 福祉援護活動の推進

鎌ヶ谷市自治会連合協議会からの働きかけで、東一区連合自治会は南初富連合自治会と東武鎌ヶ谷自治会と協力して、平成 3 年に中央東地区社会福祉協議会を設立し、同地区社会福祉協議会の運営委員を派遣しております。

また、同地区社会福祉協議会からの要請に基づき同年に東第一区エリアに福祉援護組織である援護グループ「竹のこ会」を発足させました。主な業務は高齢者に対する福祉援護活動です。令和 6 年 3 月末に解散となり、32 年続く活動に幕を下ろしました。

さらに、鎌ヶ谷市自治会連合協議会が市内に「地区ふれあい員制度」の普及を計画推進したため、当東第一区エリアでも地区ふれあい員を選出し、ご近所の見守り活動を始めました。

これらの福祉援護活動は現在も引き続き継続して実施中です。

(2024年 5 月 1 日再記録)